

消化器外科 I に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号) の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 門脈一次分枝あるいは門脈本幹の腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する術前放射線治療の有効性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 病院長 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 消化器外科 I 柿坂 達彦 (特任助教)

[研究の目的] 本研究では、門脈一次分枝 (vp3) あるいは門脈本幹 (vp4) の腫瘍栓を有する肝細胞癌において、門脈腫瘍栓に対する術前放射線治療の予後に与える影響について明らかにすることを目的としております。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

北海道大学病院消化器外科I(旧第一外科)に入院し、1990年1月から2020年9月の間で門脈腫瘍栓 (vp3, 4) を有する肝細胞癌と診断され、手術を受けた方

● 利用する検体・カルテ情報

以下の項目について、被験者の診療録から情報を入手し利用致します。

- ① 患者基本情報：年齢、性別等。
- ② 疾患情報：疾患名、術前放射線治療の有無及び治療内容、手術名、手術時間、出血量、術後入院日数、手術後の治療内容、術後合併症、再発・転移の有無、再発治療による治療成績、生存期間、無再発生存期間、予後等。
- ③ 血液検査結果：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、プロトロンビン時間、総ビリルビン、総タンパク、アルブミン、AST、ALT、クレアチニン、腫瘍マーカー、ICG 負荷試験等。
- ④ 画像検査所見：CT (3-D構築画像を含む)、MRI、超音波検査、レントゲン写真、PET-CT 等。
- ⑤ 病理検査所見：大きさ、脈管侵襲の有無、組織型、分化度、門脈腫瘍栓の放射線治療による影響、背景肝の線維化等。

[研究実施期間] 実施許可日～2022年12月31日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院消化器外科I 担当医師 柿坂 達彦

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515